

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	子育て支援センター運営事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	子育て支援課		
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	子育て支援係		
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		12 子育て支援		4 地域で行う子育てを支援する				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	3	目	2	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	児童福祉法									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	子育て中の親子が気軽に集まれる場、親同士の交流の場、情報交換の場を設け、子育ての不安を軽減する。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援拠点事業を展開し、子育ての不安の解消に役立てるとともに、子育て中の親の負担を軽減。</li> <li>・平成24年度現在の子育て支援拠点の整備状況 センター型: 中央子育て支援センター ひろば型: 味岡、篠岡、小牧、小牧南、北里、西部、大城児童館内の子育て支援室 市独自事業: 子育て広場</li> <li>・子育て支援拠点の無い味岡地区において地区会館を利用し、移動子育て支援センター事業(毎週水曜日)を実施。</li> <li>・国交付金対象は、総事業費の1/2。直接経費と臨時職員の経費の合計の1/2としている。</li> <li>・0～3歳からの子どもがいる保護者を対象として、子育て情報を配信する、子育て支援メール配信事業を実施。</li> </ul> <p>◆24年度の直接経費の内訳</p> <p>講師謝礼(145千円) ボランティア謝礼(43千円) 地域子育て支援連絡協議会委員謝礼(38千円)          普通旅費(1千円) 消耗品費、燃料費等(1,786千円) 通信運搬費(81千円) 手数料(73千円)          保険料(8千円) 遊具保守点検委託料(29千円) 子育て支援センター用備品購入費(294千円)          愛知県子育て支援センター事業連絡協議会、子育て広場全国連絡協議会負担金(21千円)</p> <p>◆25年度の直接経費の内訳</p> <p>講師謝礼(150千円) ボランティア謝礼(100千円) 地域子育て支援連絡協議会委員謝礼(93千円)          普通旅費(9千円) 消耗品費、燃料費等(1,653千円) 通信運搬費(120千円) 手数料(114千円)          保険料(9千円) 遊具保守点検委託料(32千円) 子育て支援センター用備品購入費(300千円)          愛知県子育て支援センター事業連絡協議会、子育て広場全国連絡協議会負担金(21千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	3,670	1,736	2,519	2,601	
		正職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
			人件費	千円	5,330	5,330	5,330	5,330
		その他職員	従事者数	人	11.00	11.00	11.00	11.00
			人件費	千円	19,971	17,913	22,956	24,462
	費用合計	千円	28,971	24,979	30,805	32,393		
	対前年比	%		86.2	123.3	105.1		
財源	一般財源	千円	16,707	13,890	21,032	21,838		
	国・県支出金	千円	12,264	11,089	9,773	10,555		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	子育て支援拠点、子育て広場設置数	ヶ所	目標	8	8	8
実績				8	8	8	
業	子育て支援サークル数	サークル	目標	22	20	25	25
			実績	19	25	32	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			中央子育て支援センター、子育て広場利用者数	人	目標	110,000	110,000
業	子育て支援サークル支援数	人	目標	4,000	3,000	3,000	3,000
			実績	2,973	2,017	2,243	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	子育て支援拠点の利用者は安定しており、現行の事業実施のあり方が利用者に好評であることを実証している。また、巡回型の移動子育て支援センターによる事業実施により、保護者から好評を得ている。				
	平成25年度の改善内容	事業実施における課題	子育て支援サークルへの活動支援は、子育て広場、中央子育て支援センターでのサークル室が飽和状態のため、活動の活性化に歯止めがかかっている。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	子育てに不安や悩みを抱えた親が増加し、児童虐待の増加などに繋がる恐れがある。				
	平成26年度の事業の方向性	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	同建物内の児童センターの共用部屋やまなび創造館(子育て広場)のサークル活動室といった現状の活動場所の利用可能日を確認し、最大限有効に活用する。				
	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	子育てに不安や悩みを抱える保護者、人と関わることを苦手とする親子は増加傾向にあり、相談の内容も深刻化している。また、子育て中の親子が気軽に集まり、交流ができる場に対しては非常に市民ニーズが高いため、現状維持とする。また、新たな拠点整備が必要と考える。					
	26年度以降の改善案	現状手狭となっている中央子育て支援センターでは、サークル活動に制限があるため、施設整備をするなど活動の場所の確保の可能性について検討を行なう。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。